

ろくのへ 議会だより

おいしーい
おもちいなー!



12月21日、ひのでこども園では、おもちつき会を開きました。小さな手で大きな杵を持ち、大好きなひいおじいちゃんと一緒に「よいしょ!」。おもちの出来上がりが楽しみです。

【新年の抱負】

年頭のごあいさつ 2

【12月定例会】

一般会計5356万円を増額補正 3

【一般質問】

3人の議員が町政を問う 4

【地域住民との意見交換会 in 上吉田】

一緒に語ろう！おらんどのこと 8

年頭のごあいさつ



六戸町議会
議長 円子 徳通

新年おめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より町政の発展と町議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

若い人が活躍した年

昨年を振り返りますと、1月には全国高校サッカー選手権大会決勝で、青森山田高校が前橋育英高校（群馬県）を下し、創部47年目で悲願の初

優勝を飾り、青森県民に大きな感動を与えてくれました。

大相撲では19年ぶりに日本人横綱「稀勢の里」が誕生し、将棋界では藤井聡太四段のプロデビュー以来29連勝等、若い人の活躍の年でした。

町民の不安を抱えた年

一方、六戸町では7月下旬から8月中旬の日照不足と低温により、水稲に大幅な減収が懸念されました。野菜についても収量の減収、品質の低下がみられ、基幹産業である農業

への被害が心配されましたが、天候回復により持ち直しはしたものの、農家への秋高に大きな影響ができました。

さらには、米国新大統領にドナルド・トランプ氏が就任しましたが、環太平洋連携協定（TPP）からの離脱を表明し、依然としてTPP問題の不透明化により、農家の不安要素を抱える年でした。

また、国際社会を無視した弾道ミサイルの発射など、青森県民に大きな恐怖感を与えるなど、町民が日々不安を抱える年でもありました。

より開かれた議会を

議会では昨年、「六戸町議会基本条例」の検証を行うとともに、各常任委員会では所管の現地調査を行い、新たな課題を探ることができました。

また、地域を限定して開催している「町民との意見交換会」も、今年で町内全域を回りますので、町民からの貴重なご意見を議会活動に反映させていきたいと考えております。

さらに選挙年齢が18歳以上に引き下げられ、若い世代にもわかりやすく、関心を持つてもらえるよう、身近で、より開かれた議会づくりを進

めていきます。議会の役割と責任はますます重要となることを認識し、子どもや高齢者、障がいのある人を地域で見守り、支援しながら、皆さん一人ひとりが、安全に安心して暮らすことができるよう努めてまいります。

町民の負託に全力で

今後におきましても、町民の代表機関として町民の負託に全力で応え、その使命を果たすことを目的に、一歩ずつではありますが「魅力あるまちづくり」に、着実に前に進んでいけるものと確信しております。議会としても、限られた財源の中で、より良い施策や事業効果がみられるよう、皆様のご期待に添えていくために、町政を見守りたいと思います。

町民の皆様には、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成30年1月

次のページは

一般質問

12月定例会の3日目に一般質問が行われ、高坂茂議員、杉山茂夫議員、種市正孝議員の3人が登壇しました。

一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。

質問者と内容



こうさか しげる
高坂 茂 議員

4ページ

- ①陳情・要望の取り扱いは
- ②教育委員会への教育長の思いを問う



すぎやま しげお
杉山 茂夫 議員

5ページ

- ①元気アップポイント事業について
- ②町体育館でのトレーニングルームの講習会を検討しては



たねいち まさたか
種市 正孝 議員

6ページ

- ①証明書のコンビニ交付サービスを
- ②診療所施設で「病児・病後児保育」は

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- ・質問項目は事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・質問形式は「一問一答方式」で行います
- ・同一項目について質問の制限はありません
- ・一人60分の制限時間があります

12月定例会で決まったこと

人事案件

◆教育委員

次の方を教育委員に同意しました。任期は平成32年12月24日までの3年間です。

山本 晃広さん
(通目木) 新任

財産取得

◆コンピューテッドラジオグラフィシステムならびに画像管理システム

国民健康保険診療所で、エックス線画像をデジタル処理するシステムを導入します。

- ・契約金額 1404万円
- ・相手方 有限会社サクラメディック

補正予算

平成29年度一般会計 **5356万円**を増額

【歳出の主な内容】

- ・にんにくウイルスフリー種子購入助成事業（農業振興費135万円）
- ・河川公園トイレを冬期間も使えるように（公園費40万円）
- ・小・中学校生徒のトイレを暖房便座に（学校管理費190万円）
- ・総合体育館の大規模改修工事実施設計業務ほか
(体育施設費1174万円)

平成29年度会計別歳入歳出予算

(単位：万円)

会計別	予算額		
	今回補正額	予算総額	
一般会計	5356	56億9053	
特別会計	国民健康保険	442	14億9876
	農業集落排水	82	1億5539
	介護保険	30	15億884
	後期高齢者医療	1064	1億2129
	国民健康保険診療所	138	4億7278

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

質疑

問 山本 実 議員

総合体育館の大規模改修計画だが、施設管理を計画的に行っているならば、当初予算で計上すべき事案である。補正計上した理由は

答 円子企画財政課長

27年度から積み立てていた基金を方向転換し、総合体育館の大規模改修への使途変更が可能となり、財源のめどが立ったことから補正計上しました。

問 高坂 茂 議員

国際交流員が12月1日で退職となった詳細は

答 吉田町長

当町の国際交流員ベンジヤミン・ウィルソン氏ですが、東京都にある日本の企業に採用となりました。彼の将来を応援して退職を許しました。

問 下田 敏美 議員

小・中学校の暖房便座の設置工事だが、3学期に使用えれば子どもたちが喜ぶと思う。今後の工事予定は

答 吉田教育課長

入札を12月下旬に予定しています。できるだけ早期に完成するよう努力します。



こうさか しげる 議員
高坂 茂

陳情・要望の取り扱いは

優先順位を考え年次計画で対応 — 町長

問 町内会等からの陳情・請願の取り扱いについて、年間の件数と内容、及びどの課への要望が多いか

総務課長 平成25年度は13件、H26 | 17件、H27 | 14件、H28 | 6件、今年度は現在9件となっています。

主な中身は道路や側溝整備、商品券の発行事業、公民館修繕費の助成などであり、建設下水道課への要望が一番多いです。

問 陳情等の処理率と処理された内容は

総務課長 おおむね7割程度です。主な

ものとしては、商品券の発行事業、側溝整備への要望などは実施されています。なお、事業費の大きい道路整備等は未実施

となっております。

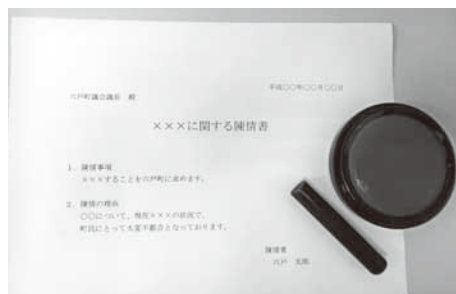
問 残り3割、つまり要望事項が達成されない案件のその後の対応については、陳情者に伝わっていないのでは

町長 陳情者に説明が伝わっていない場合は、不十分であると謝らなければなりません。今後は十分に対応するよう努力してまいります。

問 町民からの要望・意見を扱う意見箱設置の考えは

町長 平成16年度以降は、町長へのメールアドレスを町広報等にも公開し、また、ホームページからもメールで問い合わせが可能となっています。したがって、意見箱の設置は考えていません。

となっております。残り3割、つまり要望事項が達成されない案件のその後の対応については、陳情者に伝わっていないのでは



問 新部署（仮称…）の設置は

町長 新規部署の設置は考えていませんが、質問の趣旨は、問い合わせのその後がどうなっているかということだと思えます。

しかし、その対応は明確化して答えていくべきものです。今後注意を払い、取りこぼしのないよう努めてまいります。

教育委員会への教育長の思いは

現状の課題を丁寧に議論 — 教育長

問 新教育長就任に際し、教育行政のあり方ならびに抱負は

教育長 教育に関する大綱を策定すること、また、町長と教育委員会が協議、調整しながら両者が一体となって教育行政に取り組んでいく。そして、子どもたちの無限の可能性を最大限

に伸ばし、社会に貢献する人材を育成することが使命と考えます。

問 教育とスポーツ（体育）の関係は必然と考えるが、その思いは

教育長 スポーツは生活に活力を与えてくれます。教育の観点からスポーツは、子どもたちの心身の健全育成に極めて有効と考えます。したがって、スポーツをする立場の人たちへの環境整備に努めていきたい。

問 少子化は避けて通れない現実でありますが、小学校（開知小、大曲小）学区の見直しについての考えは

教育長 平成30年度から平成35年度まで、6年間の新入学児童数は、開知小は十数名で推移していく見込みです。大曲小は、おおむね50人程度が見込まれています。学区の見直しについては、学区の歴史や地域住民の意向を伺いながら、慎重に対応する考えです。

毎年春と秋の年2回、火災現場での消火を想定した訓練（放水活動等）を行っています。



すぎやま しげお 議員
杉山 茂夫

元気アップポイント事業

カード登録者987人 3000ポイント達成者75人!

問 現在のポイントカードの登録者数と3000ポイントの達成者数は

町長 11月末現在で、ポイントカードの登録者は987人。3000ポイントの達成者数は75人となっている。

問 商品券と学校活動応援金の引き換え状況は

町長 3000ポイント達成者75人のうち8割が交換している。11月末現在で、商品券交換が52人、学校活動応援金提供者が7人となっている。

問 今年度のポイントアップ事業予算25万5千円は、昨年度達成者の1人3千円として85名と理解してよろしいか

福祉課長

ポイントアップ事業の商品券・学校応援金は、一般会計の85人分、25万5千円のほか、介護保険特別会計の45人分、13万5千円の合計130人分を計上している。

また、今年度3000ポイント達成者は、来年度において交換の申請をしていただく。

問 町民運動会にNHKの夏期巡回ラジオ体操を実施する考えは

町長 町民の運動意識の高揚など意義深いと考えるが、早朝のりハーサルも含め相当な時間も要することで、町民運動会での実施は難しい。



しかし、天候やピアノの準備など、町民運動会と抱き合わせではなく実施できるか調査したい。

問 社会福祉協議会担当の各種ボランティア活動の範囲は

町長 社会福祉協議会にボランティア登録している個人及び団体で、地域住民や施設、学校から支援の要望があった際に参加した活動を対象としており、個人宅の除雪、草刈り作業やデイサービスでの行事補助などが該当する。

問 厚生労働省の介護支援ボランティア制度は、65歳以上の介護支援ボランティアにポイントを付与する制度であるが、元気アップポイント事業に取り入れるべきでは

町長 今、具体的には考えていないが、担当と調査して可能かまた有効かどうか調べたい。

町体育館のトレーニング機器使用は

講習会の開催要望があれば

検討したい — 教育長

の使用方法は、利用者の求めで職員が説明するほか、掲示物で対応している。今後、講習会の開催要望があれば検討したい。

問 中・高齢者の利用と指導方法は

教育長 トレーニングルームの中・高齢者の利用者は、全体の3分の1程度と認識している。

機器の使用は、利用者の自己責任において行っている現状にあるが、中・高齢向け講習会の開催要望があれば検討したい。

問 冬の運動不足解消にこそ必要なトレーニングルームは、暖房も無くシャワーも使えない。今定例会の補正予算の総合体育館改修工事実施設計では、何か考えは

町長 総合体育館はアリーナの床も公式試合ができない状況で、トータル的に調査をした上でどこまでの改修が必要か、トレーニングルームも含め総合的に判断していく。



たねいち まさたか
種市 正孝 議員

証明書のコンビニ交付 サービスを

住民登録・印鑑登録関係なら
対応可能 — 町長



問 当町でのマイナンバーカードの交付状況は

町長

発行枚数は、約1200枚、交付率は11%となっている。

問 役場窓口以外でも受け取り可能な、マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付の考えは

町長 現在の六戸町の情報管理状況、費用を勘案すると、住民登録及び印鑑登録関係証明であれば対応可能と考えている。導入に関しては、費用対効果を勘案し、近隣市町村の動向を鑑みながら検討していきたい。

診療所施設で「病児・病後児保育」を

今後のニーズ量を見込みながら
方策を定めたい — 町長

での延べ人数31名に対し117回訪問している。訪問看護には、専従と兼務の9名体制の看護師、外来には5名の看護師で対応している。

問 入院業務再開へ向けての、医師確保についての状況は

副町長 診療所移行前からのインターネット等での募集を継続している。診療所の方向性が定まってきているので、より強力的に具体的な活動を進めていきたい。

問 一年以上使用されていない入院室を利用して「病児・病後児保育」を行っては

町長 他の市町村では、ほとんどが、こども園や保育園で実施されている。当町では、他市町村の状況を調査し、今後のニーズ量を見込みながら、医療スタッフや診療所施設環境を踏まえ、必要性や方策を定めていきたい。

問 診療所に移行し、一年が経過した現在の状況は

町長 外来患者数は病院時より減少。再開した「夕暮れ診療」は、月平均47名の方が受診。4月から訪問看護を実施している。

問 訪問看護と看護師の状況は

事務長 24時間体制で、4月から10月ま

※病児・病後児保育とは…
子どもが病気、病気の回復期において、保護者の勤務等で、家庭で保育を行うことが困難な場合、一時的に預かり保育を行う

1年以上使用されていない2階南側病室



診療所移行に伴い、多目的室等に用途変更された2階北側病室

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
 ・円子徳通議長は裁決には加わりません。

議案番号	議案名	長根一男	種市正孝	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	川村重光	河野豊	母良田昭	山本実	苫米地繁雄	審査結果	議決日
承認 ¹³	専決処分の承認 平成29年度六戸町一般会計補正予算(第3号) (10月22日実施の衆議院議員選挙費用:927万円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	12月5日
議案 ⁴⁵	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案 ⁴⁶	六戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 ⁴⁷	平成29年度六戸町一般会計補正予算(第4号) (5356万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 ⁴⁸	平成29年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)(442万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 ⁴⁹	平成29年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)(82万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 ⁵⁰	平成29年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)(30万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 ⁵¹	平成29年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(1064万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 ⁵²	平成29年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)(138万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 ⁵³	財産の取得について(医療機器:コンピューテッドラジオグラフィシステムならびに画像管理システム(1404万円))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
同意 ¹⁸	六戸町教育委員会委員の任命につき同意を求めること(山本晃広氏=通目木)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
発議 ²	道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
陳情 ²	全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
陳情 ³	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
発議 ³	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

議会を傍聴してみませんか?

これからの町の事を話し合う場、それが議場です。
 どんなことを審議するのか、傍聴してみませんか?
 次回は3月に定例会があります。

一般質問を傍聴した方の感想をご紹介します



竹内 よう子さん
[折茂]

議場の声が聞きづかった

壁際の席に座りましたが聞こえづらく感じました。前回傍聴したときには感じませんでしたが、席の場所によるかもしれません。どこに座ってもきちんと聞こえるようにしてほしいです。



赤石 スミさん
[赤石]

身近なことでの話し合い

診療所の今後とか体育館のトレーニング室など、私も気になっていたところを取り上げられていました。身近なことについて話し合っていたので、聞いていておもしろかったです。



議会傍聴に訪れたJAおいらせ女性部六戸支部の皆さん

上吉田



ろう! おらんどのこと

に良くするためには

- 郷土芸能を継承するため、学校行事に取り入れてもらい、外の地域からも参加させ、伝承する人を育てる
- 地元の野菜と温泉とタイアップして「100歳の長生きのまち」のPRをする
- おいしい米をブランド化にしてイベント等で広く宣伝する

するためには

- ◆ 八戸市や十和田市などに近い地域に移住者を増やす
- ◆ 広域で出会いの場など地域交流を増やす(婚活などカッピング事業)
- ◆ 見合いを世話する組織をつくる
- ◆ 若い人の住みよい町づくりのため若者定住の政策充実
- ◆ 宅地造成を進め、新しい世帯を増やす
- ◆ 交通安全の看板を設置
- ◆ 学校跡地の活用(団地・アパートの建設や宅地用地として無償提供など)

① 地域の「良いところ」「残念なところ」

良いところ

- 野菜や米がおいしい(川目の米)
- 奥入瀬川がある(河川敷もある)
- 立地条件が良く、交通の便も良い
- 雪が少なく、自然災害が少ない
- 町の無形文化財があり、継承されている(鶴喰鶏舞・上吉田南部駒舞・上吉田大黒舞)
- 長生きしている地区(上吉田地区 100歳以上3人)
- 地域のまちづくり会がある(長谷地区)
- 老人クラブやふれあいサロン等の活動
- 町内会のまとまりが良く、町内会行事への積極的協力と参加
- 六戸町ブランド研究会がある

残念なところ

- ▲ 交通の便が良すぎて交通マナーが悪い
- ▲ 交通量が多く道路が狭いので、事故多発地区である
- ▲ 郵便ポストがなくなった
- ▲ 地域に住宅団地がない
- ▲ 廃校になった学校の再利用をしていない
- ▲ 高齢化で若い人や子どもが少ない
- ▲ しがらみがいやである
- ▲ スーパーが少ない
- ▲ お茶する所など集まる場所がない
- ▲ 郷土芸能の後継者不足
- ▲ 空き家も多い
- ▲ 催事が少ない

六戸町議会は、11月11日に上吉田公民館で意見交換会を行いました。今回参加した方は、旧柳町小学校学区、旧長谷小学校学区、上吉田地区に住む29人の皆さんです。
前回の意見交換会と同様に、司会進行から運営まで全て総務常任委員会が主体となって実施し、話し合うテーブルを渡り歩いて意見を出し

合う『ワールドカフェ方式』で行われました。自由におしゃべりするような感じで語り合い、模造紙にたくさんのお見聞が書き込まれました。「おらんど(私たちのこと)の地域をもっと良くするためには?」。議員12人と一緒に語り合いました。どのような意見が出されたのか、抜粋してご紹介します。



久保田 美智子さん
[上吉田]

地域の問題をみんなで考える

いろんな議員の方と初めて顔を合わせて話をして、大変よかったです。地区のいろんな問題も出ましたが、解決していくための話し合いがとても勉強になりました。



円子 徹さん
[下吉田]

問題を解決するようなリーダーを!

皆さん、いろんな考えを持っているなと思いましたが、この後、この問題を引っ張っていくリーダーがいないと、ここで終わってしまうんじゃないかなと感じました。

参加者のVoice
こえ

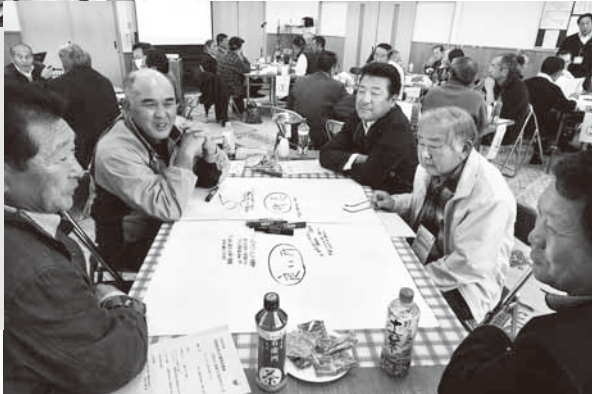




自分たちの地域をよくするために、

- ①自分たちでできること
- ②町内会や地域の団体でできること
- ③町や議会のできること

この3つをベースに話し合いを行いました。何でも「町」にやってみようではなく、まず、自分たちでできることは？町と地域の皆さんで協働する町づくりを！



意見交換会

in



一緒に話

②「良いところ」をさら

- 川魚の宝庫に奥入瀬川をもつと活用する
- 河川敷に遊歩道を整備
- 地域（町内会単位）のふれあいサロンを増やし、活発な活動をする
- 風力の活用（奥入瀬川河川敷など）
- メイプルタウンフェスタの駐車場整備（旧野球場）

③「残念なところ」を解決

- ◆農振法（農業振興地域の整備に関する法律）の緩和
- ◆若者を増やすため、子育て支援の充実
- ◆就学児の入学準備金の支給
- ◆学校給食の無料化
- ◆高校卒業までの医療費無料化など
- ◆老人クラブへの支援（敬老バス等の導入）
- ◆旧野球場を多目的広場に変更し、多目的活動や駐車場等の充実
- ◆グラウンドや広い場所で車展示会などイベントの実施により集客増を図る
- ◆大型商業施設を誘致して人を集める
- ◆運動公園にプロ野球一軍試合などイベントを企画



みんな、来てけで〜!!

次回は 旧折茂小学校学区で 意見交換会をやります!!

次は、折茂地区、折茂新田地区、川原新田地区を中心に、意見交換会を開催します。議員と一緒に意見を交換しませんか？多くのご参加をお待ちしています！

- 日時 平成30年2月17日(土) 午後2時
- 場所 折茂公民館 (六戸町大字折茂字畑川下36-1)
- 内容 各テーブルでキーワードごとに意見を出し合います。出された意見を模造紙に書いて記録します。
- 申し込み締め切り 2月8日(木)
- 問い合わせ先 議会事務局 ☎55-4547

人口確保が先決！



田中 真英さん [鶴喰]

どこのテーブルを回っても人口の増加を望む声が多かったですね。やっぱり人口を確保するのが一番で、集中的に議論をすればいいのかなと思います。

スクールバスの利用状況を視察

10月20日午前7時から、特に利用児童数が多い小松ヶ丘地区を重点に、総務常任委員会で状況視察を行いました。

なかでも、小松ヶ丘入口バス停では多くの児童が利用しており、バス停付近は混雑していましたがバスが来るまでの時間はバス停付近の空き地で遊んでいました。草刈りもきちんとなされていましたので、朝露でぬれることもなくいたようです。

ただ、いつまでも空き地があるとは思えず、今後においては児童の「安全確保第一」を考える対策が必要であると感じました。

文責：総務常任委員長 河野 豊



空き地でバスを待つ子ども達

議会基本条例を検証しました！

条例の検証公開までの流れ

議員研修 (H29. 3.14実施)
条例検証の意義とやり方を学ぶ

個人評価を集計・精査

全員協議会で報告 (H29. 5.23実施)

課題を抽出し、平成29・30年度
議会行動計画(案)の内容を協議

全員協議会で報告 (H29.10.24実施)

町ホームページで公開 (H29.12.20実施)

六戸町議会では、平成27年1月に議会基本条例を施行しました。この条例は、議会の活性化を図り、町民とともに歩み、町民の幸せの向上を目的として作られており、議会改革の柱として位置づけています。

そして今年度は、条例の目的が達成されているか見直しをする年です。(第18条：2年ごとに検証することと決めています)

条例の検証をするにあたり、議会運営委員会が主体となって検討し、平成29年12月に検証した内容を町ホームページ (<http://town.rokunohe.aomori.jp>) に公開しました。

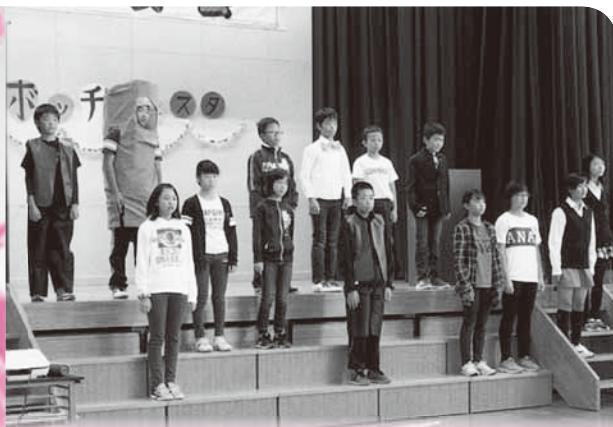
ろくのへ議会だよりでは、次号にて詳しくお知らせいたします。

広報委員の
ちょっと
ひと休み



町制施行60周年記念

未来の六戸は、
ぼくらが創る
～町制施行100周年へ～



こんにちは。11月に行われた開知小学校の学習発表会でのことです。このなかで、6年生が発表した「六戸町の未来は、私たちが創る」という内容で、100周年を見据えて、六戸町の未来を、子どもの視点から発表されていました。

私たち大人が気付かないことをしっかりとらえており、改めて子どもたちの柔軟な脳活のすばらしさを、知った気がします。

わが町の未来は、洋々たる未来が開けていると思い、感動をいただいた学習発表会でした。(高坂 茂)

10月24日、秋田県の町村議長12名が来町し、議会改革についての当町議会の取り組みなど意見を交換し合いました。議会基本条例やワールドカフェ方式での意見交換会について、多くの意見が出され、活発な交流会となりました。



あいさつをしている秋田県町村議会議長会の阿部文夫会長（大湯村議会議長）

活発な議会に向け、情報を交換

タブレット端末の利点を学ぶ

ペーパーレス(紙を使わない)化による経費削減や、資料の更新・差し替えが瞬時に行えるなどで、注目されているタブレット使用について、11月17日に研修会を行いました。

今回は、昨年に続いて2度目の研修となります。東北や県内の市町村議会の導入状況や今後の動きなどを学びました。

タブレット端末を導入することは、経費削減や事務の簡便化などが挙げられる一方で、端末を利用するための費用(本体及び通信料など)が新たに発生するという問題が出てきます。

タブレット端末を議会で導入するかどうか、今後も研修や議論を重ねて検討していきます。



先進事例を学ぶ議員たち。タブレット端末の導入には慎重な審議が必要です



議場をピッカピカに!

12月26日、議員全員による大掃除を行いました。定例会を開催している議場や、議員たちの控室、議長室などを、ぞうきんや掃除機を使い、一年の汚れを落としてきれいにしました。



一年間の感謝を込めて、平成30年を迎えます

議会のひびき(29年9月~11月)

9月

- 1日 第3回六戸町議会定例会(〜7日)
- 産業民生常任委員会 六戸秋まつり (〜3日)
- 3日 *青森県民駅伝競走大会 反省会
- 5日 決算特別委員会 (〜6日)
- 議会広報委員会 産業民生常任委員会現地視察(天候不順による水稲の現地調査)
- 7日 議会広報委員会 産業民生常任委員会現地視察(天候不順による水稲の現地調査)
- 5日 決算特別委員会 (〜6日)
- 議会広報委員会 産業民生常任委員会現地視察(天候不順による水稲の現地調査)
- 7日 産業民生常任委員会現地視察(天候不順による水稲の現地調査)
- 11日 議会運営委員会(議会基本条例の検証)
- 14日 町小学生陸上競技大会
- 15日 第64回六戸町敬老会
- 19日 *八戸・十和田・奥人瀬ライン整備促進に関する要望活動
- 26日 総務常任委員会 議会広報委員会
- 1日 第3回六戸町議会定例会(〜7日)
- 産業民生常任委員会 六戸秋まつり (〜3日)
- 3日 *青森県民駅伝競走大会 反省会
- 5日 決算特別委員会 (〜6日)
- 議会広報委員会 産業民生常任委員会現地視察(天候不順による水稲の現地調査)
- 7日 産業民生常任委員会現地視察(天候不順による水稲の現地調査)
- 11日 議会運営委員会(議会基本条例の検証)
- 14日 町小学生陸上競技大会
- 15日 第64回六戸町敬老会
- 19日 *八戸・十和田・奥人瀬ライン整備促進に関する要望活動
- 26日 総務常任委員会 議会広報委員会

10月

- 13日 議会広報委員会
- 8日 社会福祉大会及び社協まつり
- 4日 議会広報委員会
- 1日 町制施行60周年記念式典及び祝賀会
- 20日 *地方自治法70周年記念式典(東京都)
- 22日 *第61回町議会議長全国大会(東京都)
- 27日 議会運営委員会
- 20日 総務常任委員会現地視察(スクールバス利用状況の視察)
- 町内小・中学校音楽交換会
- 24日 全員協議会
- 秋田県町村議会議長会視察研修受け入れ
- 31日 正・副議長、局長研修
- 4日 *メイプルマラソン大会
- *メイプルタウンフェスタオープンングセレモニー
- 7日 *知事を囲む行政懇談会
- 9日 *郡町村議会議長会定例会
- 11日 地域住民との意見交換会(上吉田公民館)
- 13日 *青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 16日 全員協議会
- 17日 タブレット研修会
- 19日 六戸中学校創立70周年記念式典

11月

*印は議長のみ出席

町民の声

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、町の消防団活動に長年携わってきた佐藤勝則さんにお話を伺いました。

佐藤 勝則さん

プロフィール (わんわん かっこり)

押込地区在住。高校を卒業後、農業に従事する。23歳のときに町消防団第一分団に入団。その後、本団に所属し、町内の消防団活動にまい進する。

50歳の時に副団長、続いて58歳のときに消防団長として4年にわたって町の防災活動に全力で取り組む。65歳で消防団を退団した。昨秋、長年の消防功労が認められ、瑞宝双光章を受章した。趣味は山菜取り。妻と長男の3人、愛猫3匹(シラ、キンタ、モモ)と暮らす69歳。



すべてが思い出の消防団活動

もともと、身内が消防団に入っていたので、私自身も、入るものだと思っただけでした。

消防団に入ってから、すべてが思い出として心に残っています。特に、昔の消防団活動で、人の生死に直面した出来事は今でも忘れられません。約40年の団員生活でしたが、長いようで短かったなと思います。

退団しても体が反応

本団にいれば、町内の火事場は、基本すべて出勤でしたから、やっぱり気が常に張っていたように思います。

団を辞めた後、安心していられると思っても、サイレンの音が鳴れば体が反応して緊張してしまっていましたね。

家族の支えに感謝

家族の支えがあったか

ら消防団活動をやってこられたと思います。サイレンが鳴れば、畑にいても、夜中でもいつでも駆けつけなければならぬですから。

昔、畑で農作業をしていたときに、サイレンが鳴って、妻を畑に置き去りにして現場に駆けつけたことも何回もありました。

本団に、家族の理解と支えがあつてこそ消防団活動だと思っています。私に限らず、すべての団員も同じだと思いますね。

議会に要望！ もっと外部と交流を

議会でも公民館で意見

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は、町制施行60周年、六戸中学校創立70周年と節目の年でした。今回、ろくのへ議会だよりも「1994年8月」発行以来95回目となります。記念すべき100回までと5回の発行です。

昨年7月、天皇陛下が生前退位のご意向を示し、12月1日に年号の変更が皇室会議で決定しました。

地域の人とか、近隣の市町村議会の方々とか、いっぱい交流会をやつていいところを取り入れてやれば、もっといい六戸町議会になるのではないかなと思います。

聞き手 杉山茂夫委員長
長根一男委員

広報委員の任期も2019年4月30日までです。残念ながら記念すべき100回発行は「新年号」と共に「新広報委員」に委ねられます。

私も編集後記の執筆が今回で最後となります。99回広報が集大成となるよう、広報委員一同新たな気持ちで研さんしていきたいと思っています。

議会広報委員会

委員長 杉山茂夫
副委員長 種市正孝
委員 河野重光
高川村重光
長根一男
発行責任者 円子徳通

無火災と士気高揚を高めて

1月7日、六戸町と町消防団による新春恒例の消防出初式が行われました。第1分団から第9分団の団員たちが参加し、無火災と士気高揚を高めて分列行進を披露していました。



地域防災力を高めるには消防団は必要不可欠